

令和4年度「小中学校ジョイントスクール推進事業」北稜中学校区実践計画書

事務局 日計ヶ丘小学校 (担当：教頭 嶋 満昭)

1 主題 (3年次)

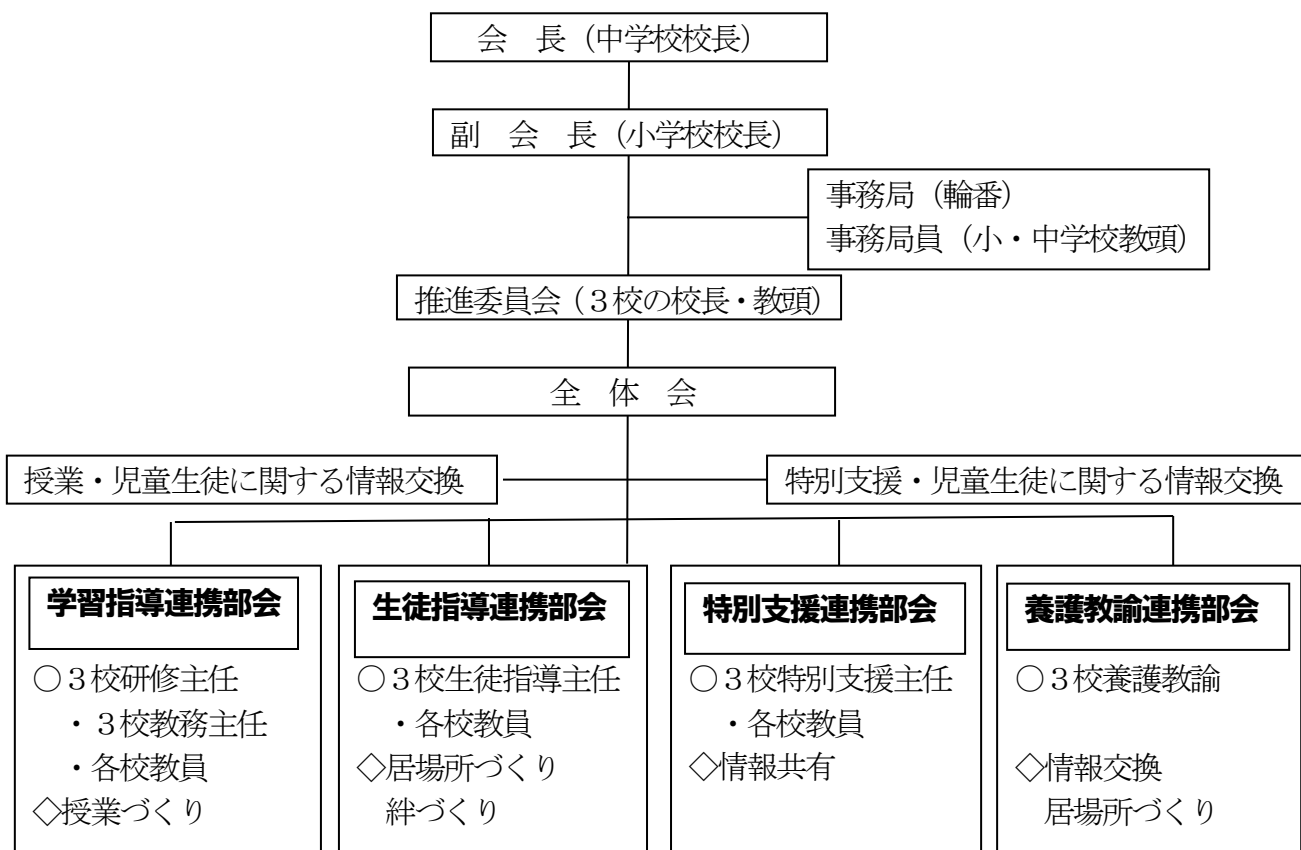
『夢をもち、人とのかかわりの中で自己を高めていこうとする児童生徒の育成』
～授業づくり・居場所づくり・絆づくりの視点での小・中連携を通して～

2 主題設定の理由

北稜中学校区(根岸小学校、日計ヶ丘小学校、北稜中学校)では、平成30年度からの2年間、文部科学省国立教育政策研究所の委託を受け「魅力ある学校づくり」に市モデル校区、推進校として取り組み、児童生徒の意識調査を基に「授業づくり・居場所づくり・絆づくり」などを通じた「集団指導」に着目した不登校の未然防止に係る学校の取組について研究を進めた。その後も継続して取り組んできたことにより、不登校の未然防止とよりよい集団づくりを進めることができ、児童生徒個々の自己有用感や自己存在感を高めることや、更には小学校から中学校への滑らかな接続にも結び付き、明日も来たくなる学校づくりへの実践の効果を確認することにつながった。

以上のことから、三つの視点を基に上記のテーマを設定し、令和2年度から3年計画で研究を進めることとした。コロナ禍におけるICTの効果的な活用により、直接的な交流を最小限にとどめながら、児童生徒が良好な人間関係を築く能力や生き生きと生活をしていくための能力を習得させたい。この能力を「中1ギャップ」の軽減につなげるとともに、定期に行う意識調査結果を継続・共有し、家庭とも連携・協力しながら研究を進めていく。今年度をもって日計ヶ丘小学校は根岸小学校に統合となるが、引き続き校区の子どもたちが居場所を実感することで安心して学習や様々な活動ができるよう、持続可能な北稜中学校区で在り続けたい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

<p>北稜中学校区 「魅力ある学校づくり」重点指導項目</p> <p>○ 学び合いがあり、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり</p> <p>○ 明日も来たくなる居場所づくり</p> <p>○ 自己を高める基本的な生活習慣の形成と周囲との絆づくり</p> <p style="text-align: right;">(あいさつ・適切なメディアとの付き合い方)</p>

5 今年度の小・中連携の具体的な計画

月	日	曜日	内 容	備 考
4	21	木	推進委員会【北稜中学校】 ・今年度の方向性について ・今年度の実践計画・組織について	3校校長・教頭
5	中旬		部長会議【日計ヶ丘小学校】(各部会) ・重点指導項目の具体的な取組内容について ・アンケート実施について	3校生徒指導・研修・特別支援・養護教諭の各主任
5	25	水	第1回J S合同研修会【北稜中学校】 ・授業参観 ・各部会 ・全体研修会	
7	29	金	第2回J S研修会【日計ヶ丘小学校】(各部会) ・前半の取組についての振り返り	状況によっては部長会議に変更
11	24	木	第3回J S合同研修会【根岸小学校】 ・授業参観 ・各部会(振り返り) ・全体研修会	
1	18	水	推進委員会【北稜中学校】 ・成果と課題 ・次年度の取組について	3校校長・教頭

6 今後の取組についての確認事項

- (1) 推進委員会の案内は、事務局が発送する。
- (2) 実践計画等については、推進委員会で協議し決定する。ただし、各部会の研究内容等については、各校のそれぞれの主任会議で協議する。
- (3) 実践計画書及び報告書の内容は、推進委員会で検討する。作成・提出は、事務局(輪番制)が行う。
 ※事務局(輪番制)
 R. 4(日計ヶ丘小) ⇒ R. 5(根岸小) ⇒ R. 6(北稜中学校)
 ①各部会の名簿づくり
 ②全体会の司会及び各部会の司会進行
 ③当日の日程表と会場の準備
 ※会場校：第1回J S合同研修会(北稜中学校)
 第2回J S研修会：分科会(日計ヶ丘小学校)
 第3回J S合同研修会(根岸小)
- (4) 各部会の部長は、事務局校の研修主任・生徒指導主任・特別支援教育主任とする。
 事務局校以外の各主任は副部長とし、3校の主任で連絡を取り合いながら部会の持ち方や具体的な取組について検討して進める。
- (5) 第3回J S合同研修会について
 授業参観後、四つの部会に分かれて今年度の取組について振り返りを行い、成果と課題をまとめる。また、児童生徒に関する情報交換を行う。